

9. 性質別歳出決算の推移

義務的経費は、前年度に比べて約3億2千万円の増となった。これは扶助費の増と人件費及び公債費の減との相殺増によるものである。投資的経費は、約43億6千万円の増で、その他の経費は、積立金の減等により約1億円の減となった。

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、これまで430～450億円台で推移してきているが、平成20年度は、前年度に比べて約3億2千万円の増で約456億円となり、平成11年度以降では最も多い額となった。構成比については、歳出合計額が増加したことにより2.3ポイントの減となった。

投資的経費は、台東病院整備の実績増、リバーサイドスポーツセンター体育館大規模改修、少年自然の家改修の実施等により、前年度に比べて約43億6千万円の増となった。構成比は4.6ポイントの増で9.6%となり、平成14年度以来の水準となった。

その他の経費は、積立金の減と他会計への繰出金や貸付金の増などにより、前年度に比べて約1億円の減、構成比は2.3ポイントの減となった。

性質別決算額

単位：百万円

区 分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
義務的経費	44,912	43,949	44,107	43,645	43,460	45,408	45,477	45,206	45,274	45,597
人件費	17,579	19,261	19,113	17,804	17,190	17,158	16,696	16,848	16,701	16,077
（うち職員給）	12,313	13,397	13,076	12,512	12,021	11,642	11,397	11,154	10,748	10,807
扶助費	22,041	20,223	20,495	21,161	21,560	23,645	23,759	23,229	23,595	24,571
公債費	5,291	4,465	4,499	4,680	4,709	4,605	5,022	5,129	4,978	4,948
投資的経費	12,096	12,244	10,987	8,588	6,112	4,549	4,608	4,350	4,267	8,625
その他の経費	32,222	29,618	29,150	29,538	30,672	29,619	30,840	34,552	35,685	35,584
物件費	13,117	11,491	11,475	11,159	10,933	10,471	10,439	10,731	11,352	11,309
補助費等	6,182	5,661	5,532	5,541	5,686	5,299	5,496	5,924	5,950	6,023
積立金	1,687	275	459	156	285	474	1,397	3,527	3,563	2,696
貸付金	3,595	3,681	3,575	4,138	4,132	4,062	3,931	3,915	3,903	4,392
繰出金	4,004	7,751	7,143	7,694	8,774	8,409	8,663	9,500	9,960	10,273
その他	3,637	759	966	850	862	904	914	955	957	891
歳出合計	89,230	85,810	84,244	81,771	80,244	79,576	80,926	84,108	85,227	89,805

※その他の経費のその他は、維持補修費・投資及び出資金である。

性質別歳出決算の推移(構成比)

